

< 4人の友の信仰 >

マルコ2：1～12



1、中風の人はいやし

イエス様がカペナウムに戻って来られた！

多くの人が戸口まで隙間もないほど集まってきた。

人々は病氣のいやしを期待したが、イエス様はみことばを語られた。

すると突然天井に穴が！

中風の人を担架にのせてつり下ろす4人。

*中風＝脳卒中のような脳疾患。

後遺症で体に麻痺が残って寝たきりだった。

4人の行動は非常識！？

イエス様が注目したのは・・・壊された屋根？ 非常識な行い？ No！

イエス様は必ずいやしてくださるという4人の信仰。

現場にいた人々の反応は？

非常識ともいえる4人の行いを非難しただろうか・・・？

これほどまでした彼らの「信仰」を見て力づけられ、共感したのではないか。

信仰による行動は、周りの者の信仰も奮い立たせる力がある。

- ◆ 奇跡が行われる場には、イエス様からの一方的な働きかけだけではなく、人の側からの求めがある。「人には出来ないが、神には出来る」という信仰による求め。「人の側からの求め」とは、イエス様こそ神の御子キリストですという信仰の表明。

- ◆「神と人」この双方向性を持った「愛の関係」に
神の力が働かれる。福音が実現される。そこに神の国、神の支配がおよぶ。

中風の方は自分が願ってここへ来たのだろうか・・・？ わからない。
しかし、連れてきた4人はイエス様に期待があった。きつといやされる！

- ◆4人の友のように、私たちの信仰が大切な人を、イエス様のところへ
連れてくる事が出来る！

2、罪を赦す権威がある方はだれか

イエスは彼らの信仰を見て、中風の方に、「子よ。あなたの罪は赦されました」と言われた。【5節】

?? 中風の方は病のいやしのために来たはずだったが・・・。

罪を赦す。病気をいやす。どちらも人には出来ない

人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。」こう言ってから、
中風の方に、「あなたに言う。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい」と言われた。

【10, 11節】

罪の支払う報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある
永遠のいのちです。ローマ6:23

人は死に向かって生きている。しかし「罪を赦す権威」を持っている
イエスキリストは、「罪の報酬である死」をも滅ぼす方。そして病をいやす
ことがおできになる。

- ◆一部始終を見ていた群衆達に、大きな衝撃が起こった。ここで再びイエス様の
権威に驚き、遂にはイエス様にこのような権威を与えられた神をあがめた。